

あいだみつをの「にんげんだもの」

1. だれにだってあるんだよ

ひとにはいえないくらしみが

だれにだってあるんだよ

ひとにはいえないかなしみが

→だれにだってあるんだよ

みんなにいいたくなるしあわせが

だれにだってあるんだよ

ひとりほくそえんでしまうよろこびが

2. 自分が自分にならないで誰が自分になる

→ニーチェはいった。『ツアラトウストラはかく語りき』

3. 夢はでっかく根は深く

→夢も希望もない根無し草

4. 背伸びする自分。卑下する自分。

どっちも嫌だけど、どっちも自分。

→背伸びする自分。卑下する自分。

どっちの自分も嫌いじゃない。

5. 人のためと書いて偽りと読むんだねえ

→人のところと書いて億と読むんだねえ

→人が憂うと書いて優れてる、優しいと読むんだねえ

※意は心、億は数え切れないほどの数、の意味